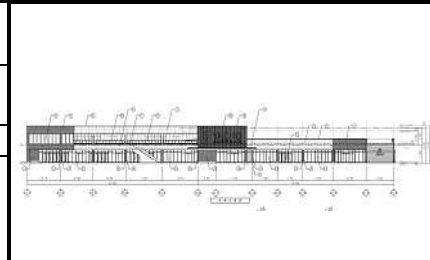


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヤオコー秦野平沢店新築工事	階数	地上2F
建設地	神奈川県秦野市平沢北原423番地1	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分		年間使用時間	4,500 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年5月 予定	評価の実施日	2013年10月25日
敷地面積	11,458 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社イマイ建築設計事務所
建築面積	5,355 m <sup>2</sup>	確認日	2013年10月25日
延床面積	7,153 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社イマイ建築設計事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
参照値: 100%  
建築物の取組み: 67%  
上記+: 67%  
上記+: 67%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Qのスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR 環境負荷低減性** **LRのスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
省エネ及び環境配慮型建物としてLED照明の多用やオール電化で計画している プレイロット、オープンデッキなどのスペースを確保し地域活動のアメニティ向上に貢献している		
<b>Q1 室内環境</b> 内装材にはすべてF を使用し、汚染物質の発生を最小限にとどめている	<b>Q2 サービス性能</b> 給水管、排水管ともに耐用性のある管材を採用し長寿命化を図っている 節水器具の採用し設備への信頼性向上に努めている	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地や建物に多くの緑地を設置している プレイロット、オープンデッキなどのスペースを確保し地域活動のアメニティ向上に貢献している
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明を採用し省エネルギー化に努めている	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 自動水栓、節水型便器を採用し節水に努めている LSG下地を採用し躯体と仕上げ材の分別を容易にしている	<b>LR3 敷地外環境</b> 十分な量の駐輪場、駐車場を計画し交通負荷抑制に配慮している ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率 67%とし、地球温暖化防止に取り組んでいる

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される